

議会 だより



議会と村民のふれあい懇談会



第8号

平成27年10月9日
発行

議会と村民のふれあい懇談会を開催しました。
多数の村民の方にお集まりいただきました。

詳細はP11ページに掲載しました。

CONTENTS

9月議会定例会	2	クアオルトの視察に 行ってきました	10
9月定例会 一般質問	5~10	村民とのふれあい懇談会を開催	11
議会の予定	5・6	歴史のとびら	12
総務産業常任委員会報告	7	「議員と未来会議」参加者募集	12
決算特別委員会報告	8・9	編集後記	12



白川村

shirakawa village

議会広報

9月議会定例会は、平成27年9月17日から10月1日までの会期で開かれ、議会報告5件、意見書採択1件、委員任命同意等3件、平成26年度決算認定8件、工事請負契約1件、条例制定1件、条例改正3件、専決処分1件、平成26年度一般特別会計補正予算5会計を慎重に審議し、原案どおり可決しました。

◆9月議会定例会

議会報告（5件）

◎平成26年度

財政健全化判断比率の報告

▼白川村代表監査委員から全ての比率（※）も良好であるとの報告を受けました。

※財政健全化判断比率とは…

自治体財政の健全化を示す

「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4指標を指す。実質公債費比率は、自治体の年間の収入に対し、借金返済額が占める割合を示す数値。借金を返し始める（償還を開始する）時期で大きく変化するため、過去3年間の平均を比較する。将来負担比率は、今後、返済が必要な自治体の借金の総額が、収入の何倍に相当するかを示す数値。公社や第三セクターまで含むのが特徴。4指標とも数値が大きいほど財政状況は悪いとされる。

来園者数・収入金額ともに前年度を上回ることができたと報告を受けました。

◎平成26年度大白川温泉観光株式会社

▼マイマイガの大量発生等により、温泉・道の駅事業とも前年度と比較し収益等が減少していると報告を受けました。

◎平成26年度一般社団法人白川村緑地資源開発公社の経営状況の報告

▼訪日外国人等の影響により、

来園者数・収入金額ともに前年度を上回ることができたと報告を受けました。

◎平成26年度一般社団法人

世界遺産白川郷合掌造り保存財団の経営状況の報告

▼各種事業の取り組みにおける実績と成果についての報告と受託事業（駐車場）が過去最高となったと報告を受けました。

意見書の採択（1件）

◎健康でよい歯科医療の実現を求める意見書

▼歯科治療に対する保険の拡大などを求め、衆参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣に対し議長名で意見書を提出しました。

任命の同意等（3件）

◎白川村教育委員会教育長の任命同意

白川村教育長
倉 嘉宏さん（63歳）

（任期） H 27. 10. 1
H 30. 9. 30 3年間

◎白川村教育委員会の委員の任命同意

白川村教育委員
坂本 靖さん（55歳）
（任期） H 27. 10. 1
H 31. 9. 30 4年間
森崎 雅樹さん（51歳）
（任期） H 27. 10. 1
H 30. 9. 30 3年間

◎白川村自治功労者表彰条例に基づく被表彰者の同意

白川村教育委員会委員在職20年
高島 廣行さん（66歳）
（表彰条例第2条 第1項第4号該当）

平成26年度決算認定（8件）

◎白川村一般会計歳入歳出決算の認定

◎白川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

◎白川村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定

◎白川村温泉開発特別会計歳入歳出決算の認定

◎白川村白弓スキー場特別会計歳入歳出決算の認定

◎白川村公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定

◎白川村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

◎白川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

▼根尾俊道代表監査委員より

「全会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書はいずれも法令に準拠して作成されており、決算係数は関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果誤りのないものと認められた。また、予算の執行状況は妥当であり、おおむね所期の目的を達成したものと認める。」との報告を受け、決算特別委員会に付託し審議した結果、原案のとおり可決をし

ました。なお、詳細につきましては広報しらかわ11月号に掲載されます。

契約の締結（1件）

工事請負契約

◎社会資本整備総合交付金事業

▼下水道汚泥搬出棟築造工事
95,364,000円

白川村鳩谷273番地

沢田建設 株式会社

計画の策定及び変更（2件）

◎白川村過疎地域自立促進計画の変更

▼現計画に、交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進、教育の振興についての各事業を追加しました。

◎御母衣辺地総合計画の策定

▼公共的施設の総合整備計画を策定しました。

条例の制定（1件）

◎白川村荻町公園の設置及び管理に関する条例の制定

▼荻町公園が整備されたことに伴い管理条例を制定し、荻町駐車場の設置及び管理に関する条例を廃止しました。

条例の一部改正（3件）

◎世界遺産合掌造り集落保存協力寄附金徴収条例の一部改正

▼荻町駐車場の設置及び管理に関する条例が廃止されたことに伴い条文中の字句を改正しました。

◎白川村個人情報保護条例の一部改正

▼行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い条文中の字句等を改正しました。

◎白川村自治功労者表彰条例の一部改正

▼表彰基準を他の自治体と比較し改正しました。

専決処分（1件）

◎平成27年度白川村一般会計補正予算（専決第2号）

▼保健衛生費の新生児に対応する医療費が不足し、早急な対応が求められたことに伴い条例の範囲内で専決処分による予算措置を講じました。

※専決処分とは：

本来、議会の議決・決定を経なければならぬ事柄について、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理することをいう。

平成27年度補正予算(5件)

◎白川村一般会計補正予算(第4号)

補正額 84,765千円増額
(補正後、3,380,591千円)

【歳入】

※主な内容(100万円以上)

地方交付税

▼普通交付税の確定により、
233,093千円を増額
しました。

国交支出金

▼文化財建造物を活かした
地域活性化事業補助金等で
41,957千円を減額し
ました。

県支出金

▼大白川園地整備事業に係る
県振興基金(新規)等で8,
577千円を増額しました。

繰入金

▼歳入財源の確保ができたこ
とによる基金繰入の取り止

めにより、110,000
千円を減額しました。

財産収入

▼平瀬クリーンセンター落雷
被害保険金収入で2,33
0千円を増額しました。

村債

▼旧平瀬小学校舎再生活用事
業に係る今年度分事業費を
26,500千円減額し、
臨財財政対策債の額の確定
により18,384千円を
増額しました。

【歳出】

※主な内容(100万円以上)

総務費

▼公共施設等総合管理計画策
定期間を2カ年事業とした
ことにより11,491千
円を減額しました。
▼個人番号カード対応に係る
経費2,146千円を増額
しました。

衛生費

▼し尿処理委託費2,258

千円を増額しました。

商工費

▼荻町地区バスターミナル建
設に伴い27,500千円
を増額しました。

土木費

▼国道単線改良負担金1,9
00千円を増額しました。

教育費

▼旧遠山家住宅改修事業のう
ち整備活用工事を翌年度に
実施するため11,920
千円を減額しました。

補正額 6,000千円増額

(補正後、459,205千円)

【歳出】

※主な内容(100万円以上)

▼白川クリーンセンター改修
工事費の資材高等に伴う工
事費6,140千円を増額
しました。

◎白川村介護保険特別会計補正予算(第2号)

保健事業勘定の分
補正額 増減なし
(補正後、196,426千円)

◎白川村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

直診勘定の部
補正額 872千円増額
(補正後、103,296千円)

◎白川村簡易水道特別会計補正予算(第2号)

補正額 増減なし
(補正後、64,000千円)

◎白川村公共下水道特別会計補正予算(第2号)



9月定例会に上程された補正予算書



大田 貢 議員

地域の災害対策について
マイナンバーの

安全対策について

全国各地で記録的な大雨等により甚大な被害が発生している中で、村においても過去に記録的な大雨による被害が発生している。近年のナラ枯れなどにより本来森林が持つ機能が低下していると感じる。

効果が見られなかったため現在は見合わせていますが、水路等に影響する倒木の処理などは継続して対応しています。

9月にマイナンバー法が制定され今月には

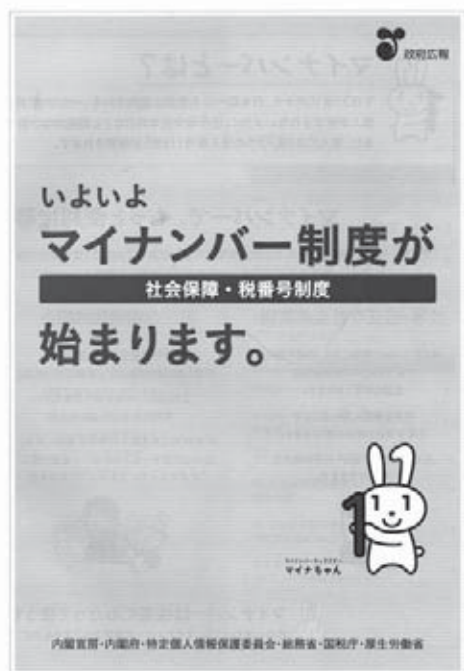
個人番号が、来年にはカードが交付される。新聞等の報道では自治体の6割が不安を感じていると聞く。

村の対策は万全か。

9月の区長会において冊子（マイナンバー制度が始まります）を全戸配布いただくよう依頼しました。行政といたしましては、制度上から見えて「安全・安心」な仕組みが構築されていきますので、現時点では心配していません。

Q 村の危険個所の点検など災害に対する対策はできているのか。

A ナラ枯れ箇所の面積も小さく、豪雨等により即崩壊につながるとは考えられないと判断しています。また、ナラ枯れ被害に対する対策も講じましたが



冊子「マイナンバー制度が始まります」

日	行事	出席者
1日(木)	9月議会定例会(最終日)	全議員
5日(月)	大野泰正参議院議員懇談会	全議員
7日(水)	白川村総合計画審議会	議長 総務委員長
9日(金)	県町村議会議長会 定期総会・正副議長研修	正副議長
10日(土)	全国育樹祭前夜祭	議長
11日(日)	全国育樹祭	議長
15日(木)	「木の国」統一要望 白川八幡神社参拝 どぶろく祭り鑑賞会	議長 正副議長
17日(土)	J A ひだ農業まつり	副議長
22日(木)	議員懇談会	全議員
23日(金)	南砺市・白川村議会交流懇談会	全議員
24日(土)	飛騨慈光会後援会設立10周年記念大会	全議員
27日(火)	緑地資源開発公社 理事会 例月出納検査	議長 高梁監査員 総務委員長
29日(木)	飛騨農業共済事務組合 議会	全議員
30日(木)	関市議会・白川村議会交流懇談会 南砺市合併10周年記念式典	議長 全議員



上手 英二 議員

白弓スキー場の

活用方法について

平成26年12月に村議会から村長へ提言書を提出した事項の中に白弓スキー場について、

① スキー場運営の責任者を明確にすること。

② 施設の老朽化が著しく存続には膨大な経費が必要となるが、現在の使用料収入ではその予算化について村民の理解が得られないため検討委員会を設置すること。

の提言を行い一定の回答を平成27年3月5日頂いた。

Q その後の進捗状況は

A 本年8月18日に南部地域の各区長さんに対しスキー場の現状説明と併せて懇談会を実施しました。

次回は11月下旬を予定していますので、その後、検討委員会を設置し各方面の皆様にご参画いただきたいと考えています。

Q 教育現場（学校）でのスキーの授業時間は

A 小学校は体育の授業として2日間（10時間）、中学校は野外活動として1日（5時間）実施しています。

Q 議会と村民とのふれあい懇談会（平瀬会場）では存続を望む声が大半であった。行政の考え方は

A 最終的には設置される検討委員会の結果をもとに議会と協議しながら決定したいと考えています。スキー場を存続させるとなれば目的（観光施設なのか教育施設なのか等）を明確にして行きたいと考えています。



今シーズンの村民スキー大会より

11月 行事予定

行事	出席者
2日(月) 岐阜県町村議会議長会主催 政権与党国会議員との意見交換会 村長、議会、教育委員合同学校訪問	議長 全議員
3日(火) 白川村表彰式	全議員
4日(水) 中電懇話会	正副議長
10日(火) 〔予定〕議員懇談会	全議員
11日(水) 第59回町村議会議長会全国大会及び 第40回豪雪地帯町村議長全国大会	議長
12日(木) フランスリクヴィル来村交流会	全議員
13日(金) 全国過疎地域自立促進連盟定期総会	議長
27日(金) 世界遺産20周年記念式典	全議員
30日(月) 飛騨地域議員研修	全議員



大田 忠広 議員

全国の自治体ではふるさと納税により地域振興の取り組みが展開されている。

Q 村の対応状況と今後の展開について

A この制度は平成23年に創設され、村では創設後55件で3,359千円の納税をいただいています。また、一万円以上納税いただいた方に対し村の特産品(3,500円相当)をお送りしています。今後も納税に対するPRを行い、白川郷産品認定商品を送付するなどの付加価値を付け納税額の増加に努めます。

ふるさと納税の現状と今後について
 □子育て支援について
 □高齢者福祉について

民間法人等では奨学金制度などの支援を行い若者の担い手確保に努力している。村の子どもたちが大学や短大などに進学する際の就学支援を行いUターン等を促進させ人口増加につなげる必要がある。



9/16 敬老会より

Q 村の考えは

A 現在村には2つの奨学金制度がありますが、いずれも進学に対し経済的に困難な方を対象とした制度でありますのでUターン促進などにつながる奨学金は制度化されていませので今後検討いたします。

Q 村の考えと状況は

国では介護離職者ゼロの実現に向け、大幅な特養整備に乗り出し要介護度3以上の待機者ゼロを目指す方針とともに在宅介護の充実を図るとのこと。

A 国の法改正に対し村はどこまで対応できるのかが大きな課題であります。在宅介護への支援(デイサービス等)を行いながら、要介護3以上の特養入所希望者のための体制の整備を将来的な見通しを見定め行っていく予定です。

総務産業常任委員会
より報告します

平成27年9月18日(金)に総務産業常任委員会を開催し、案件の審査2件、議会としての所管事務の調査3件について審議いたしました。
 審議案件及び内容は以下のとおりです。

1. 案件の審査
 - ① 萩町地区バスターミナル整備事業について
 - ・行政から計画図等について説明を受け概ね良好であると判断いたしました。
 - ② 譲渡家屋物件について
 - ・今回は離村者から家屋及び村内所有地の無償譲渡について説明を受けた。議会としては、行政対応の是非について検討し中間的な機構で対応することが望ましいと判断しました。
2. 所管事務の調査
 - ① 温泉事業について
 - ② 白弓スキー場について
 - ③ クアオルト事業について
 - ・①②③ともに今回は結論に至らず継続して審議することとしました。

委員長 川田 裕



川田 裕 議員

クアオルト事業
推進について

この事業は平成27年6月補正において調査費が予算計上され、議会においても山形県上市市で体験視察を行った。先般の議会と村民とのふれあい懇談会（白川会場）でも参加いただいた村民の方にご意見を聞いたところである。

Q 現時点での取り組み状況と事業展開をする場合の担当課は

A 取り組みにつきましては、現地視察のみで進捗はありません。担当課につきましては、現在は観光振興課で対応していますが、今後は、村民の健康増進等の観点から村民課を予定しています。

Q 事業展開をするに当たり、他の自治体や民間団体との連携や協力体制をどう図るのか

A 先進的に取り組んでいる山形県上市市については視察等の受入れをしていただけませんが、その他の全国的に取り組んでいる自治体はあまり情報を外に出したくない思いが強く連携いただけないのが現状です。そこで、村のトヨタ白川郷自然学校などと連携・

協力を図り事業展開を図って行きたいと考えています。



山形県上市市クアオルト視察より

決算特別委員会
より報告します

平成27年9月定例議会において、平成26年度白川村一般・特別会計の決算について、根尾俊道代表監査委員から詳細な決算報告を受け、9月18日(金)に決算特別委員会を開催し同定例会において付託されました8件について審議いたしました。

審議案件及び内容は以下のとおりです。

◎付託案件

(1)～(8)はいずれも平成26年度
① 白川村一般会計歳入歳出決算の認定

② 白川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

③ 白川村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定

④ 白川村温泉開発特別会計歳入歳出決算の認定

⑤ 白川村白弓スキー場特別会計歳入歳出決算の認定

⑥ 白川村公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定

⑦ 白川村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

⑧ 白川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定



新谷 保雄 議員

大型連休での 交通渋滞について 白山公園線の通行止めの 影響について

先日のシルバーウィーク（9月19日～23日）では、来訪する車両が高速道路（下り線）で長時間渋滞した。

Q 渋滞の緩和策は

A ゴールデンウィーク並の対策（臨時駐車場やガードマンの確保、シャトルバスの準備）を講じていましたが、結果的に長時間の渋滞となっていました。しかし、これ以上駐車場を確保することは世界遺産地内が来訪者で大混乱してしまう等の問題も生じますので今後の課題であると感じました。

Q 村が以前整備した白川郷ICから寺尾駐車場を結ぶ道路（鳩谷地内

線）を活用し渋滞緩和ができないのか

A 警察等とも協議いたしました。が、取り付け道路の構造上安全性が担保できないため整備しました鳩谷地内線の活用は現時点で不可能と判断しています。

Q 庄川IC付近で国道の利用を促すことができれば、渋滞緩和と平瀬地区の活性化を同時に図ることができるか
A その対策は

A 村のHP等には2ルート化（高速と国道利用）を明示し分散化を



シルバーウィークの渋滞状況より

促しています。更に、庄川IC前に設置してある看板利用を考えましたが、高山市の理解が得られない状況にあります。

災害復旧により県道白山公園線（県道451号）が9月18日に通行可能となった。

Q 携帯電話の使用できるエリアは

A 来春にKDDI社（au）がブナの森キャンプ場までの範囲で供用を開始いたします。

Q 大臼川溪谷ウォーキングは

A 今シーズンは災害により開催中止となりました。このイベントは白川郷観光協会が主体となり実施していますが、地元への宿泊者が少ないといった問題もありますので、体制も含めた運営について観光協会と協議いたします。

◎ 審議結果

平成26年度の歳入決算総額は一般会計・特別会計合わせ、435,158万円。歳出決算総額は、一般会計・特別会計合わせ、414,468万円と、ともに平成25年度を上回る決算でありました。

- 議会内では、
① 毎年懸案事項となっている村税の滞納、上下水道・国保などの未納の問題と徴収に対する職員意識向上。
② 職員の事務的ミスによる不用品の処理。

等々の課題がありますが、来年度からより一層の努力を期待するところです。

いずれにしても、平成26年度の執行状況は妥当で適正に処理されており、代表監査委員からの報告のとおり「所期の目的は達成されている」と判断いたしましたので報告いたします。

最後になりましたが、梶尾俊道代表監査員には数日間にご報告をいただきありがとうございます。

委員長 森崎 敏克



高桑 徹司 議員

□これからの白川村
その2

村職員の技術職（土木技師、保健師など）の確保が難しいと聞く。村の子どもたちに求める職種（技術職等）に対する奨学金制度を新設し、将来資格を取得し帰郷した場合に限り奨学金の返還免除と言った、村を上げて人材を育てる制度があっても良いのではないかと。

Q 村の考えは

A

過去において不足する看護師に限り奨学金制度を制定しましたが結果的に思った以上の成果が得られませんでした。村に帰ってきて欲しい気持ちは村民の願いでもあります、単

純に奨学金制度だけで帰郷してもらえらるとも考えにくい面もあり、今後教育現場とともに協議し検討して行きます。

移住定住事業を推進する中で、移住者と地元地域のコミュニケーションをどう図るかが課題であると感ずる。

Q

双方のコミュニケーションを図るための仲介役について村の考えは

A

移住定住や空き家対策等の各種事業については、行政主導ではなく中間的な機構を設置しコーディネートしていきたいと考えています。



今年の白川村ナイトより

クアオルトの視察に行ってきました

8月9日から11日の2泊3日で山形県上山市へ行政が取り組みを検討してる「クアオルト事業」について議員5名（森崎、川田、新谷、大田（貢）、大田（忠））、村長、村民課長、観光振興課長とともに体験視察に行ってきましたので報告いたします。

8月9日(日)

1時間30分かけ「葉山コース」をコース概要等の説明を聞きながらウォーキング体験

8月10日(月)

2時間10分かけて「早朝ウォーキング」をコース概要等の説明を聞きながらウォーキング体験

2時間かけて「西山コース」を血圧・心拍数を計測及びコース概要等を聞きながらウォーキング体験

上山市役所を訪問し、市長等から同市の取組みの概要等について意見交換

8月11日(火)

2時間30分かけて有料コース「蔵王高原坊平コース」を血圧・心拍数を計測及びコース概要等を聞きながらウォーキング体験

この視察において、クアオルトの素晴らしさを体験するとともに、村で推進するうえでの課題についても発見することができました。今後継続的に議会内で審議いたしますのでその都度ご報告させていただきます

クアオルト視察団（議会議員）

大田 忠広

村民とのふれあい懇談会を開催

今年で6回目となります「議会と村民のふれあい懇談会」を8月25日(火) 白川会場及び8月26日(水) 平瀬会場において開催いたしました。

両会場ともに多数の村民の皆様にご参加いただきありがとうございました。

いただきました貴重なご意見を今後の行政運営に反映させていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

平瀬会場 カルチャーセンター

テーマ 平瀬温泉、白弓スキー場、ガソリンスタンドについて 参加者 27名

①スキー場に対するご意見等

- ・スキークラブでもスキー客の誘致や改修作業のボランティアに努力している。
- ・スキー場を閉鎖することは簡単であるが、各種活動も尊重して欲しい。
- ・リフト料金が高いので見直しを望む。
- ・スキー場をどの様に存続させるのが問題。
- ・リフトの老朽化も問題。
- ・学校の教育として存続させることも大切。(スキー授業時間が少ない)
- ・雪のない外国人に対する観光面に有効活用できないか。
- ・雪国の白川村にスキー場が無くなることは許されない。

②平瀬温泉に対するご意見等

- ・大白川温泉には価値がある。
- ・温泉不調の原因の一つに取水と電気の問題がある。
- ・取水を自動コントロールできればもう少し改善できる。
- ・新しい源泉についても検討する余地もある。
- ・ダムの補償でもあるので、中切地区に温泉が無くなることは考えられない。

③ガソリンスタンドに対するご意見等

- ・村は村営スタンドを作ると聞いた。
- ・村営でスタンドを開設した場合でも、地域住民が100%利用することは難しいのでは。
- ・ガソリンは問題ではない。特に冬期間の灯油が問題である。

白川会場 総合文化交流施設

テーマ クアオルト事業、空き家対策について 参加者 19名

①クアオルト事業に対するご意見等

- ・昼に行う事業であるため、忙しい村民が利用するのか。
- ・観光目的に事業展開が本当に望めるのか。
- ・秋の熊対策が大変ではないか。
- ・身体的(健康)に効果があるのであれば興味もある。
- ・役場の職員数に問題がある。
- ・やり方次第では可能性を感じる。

②空き家対策に対するご意見等

- ・空き家活用で人口の増加が期待できると感じる。
- ・地域によっては空き家を活用した移住者を受入れている実績もある。
- ・移住者の仕事の世話もしなければいけない。
- ・合掌造りの空き家をどうするのか。

※今回掲載させていただいたご意見はごく一部です。今後とも多くの村民皆様からご意見がいただけるよう議会でも努力いたします。

～戦争を終わらせた風邪～

皆さん、こんにちは。今回は、大正時代の中期の扉を開けてみましょう。大正3年に勃発した第1次世界大戦は、世界各地で尊い命が失われる中で、大正7年に終戦を迎えますが、この大戦の終戦に大きな影響を与えたのが、スペイン風邪の世界流行とされています。全世界で5億人以上の方が感染し、死者は5000万人から1億人に及ぶと言われ、日本でも39万人の方が亡くなっております。この病原体は、A型インフルエンザウイルス（H1N1亜型）で、鳥インフルエンザに由来する可能性が高いことが証明されています。平成21年の新型インフルエンザの流行のように、いつ世界的流行のインフルエンザが発生するかわかりません。白川村では、10月の下旬に予防接種があります。日頃の手洗いやうがいを行行し、予防に努めましょう。さて、お話をもどしましょう。大正7年には、森永ミルクチョコレートが販売されました。そして、今回のクイズです。翌年の大正8年に、現在も愛飲されている飲み物が発売されました。創業者がモンゴルで飲んだ物がヒントとなり、「初恋の味」、世界初の乳酸菌飲料として7月7日が発売されました。わかった方はいましたか？私も子供の頃から飲んでいましたし、家にお中元とかで頂いたのを覚えております。今では、味も多彩となりお酒のベースとしても使われています。明治屋がコカコーラを輸入販売したのもこの頃と言われている。人々に愛され続けてもうすぐ100年。答えは、カルピスでした。あと1ヶ月もすると初雪の季節ですね。皆様それぞれご自愛頂き、冬支度頑張ってください。



編集後記

第6回目となる議会と村民のふれあい懇談会を8月25日と26日に開催したところ、平瀬会場では過去最高の参加を頂きました。また、両会場へ参加してくれた村民もあり、主催者側として厚く御礼を申し上げます。現在、皆様から頂いた意見を精査しながら、過去の調査の検証や新たな考え方が

ないか、7人で協議しております。12月の議会会期中に提言書として村に提出し、来年度以降の村民皆様の暮らしに役立てるよう、森崎議長以下全議員で頑張ってください。
(高桑 徹司)



歴代

白川村議会議員

議員氏名
(カッコは大字名)

就任 平成11年4月28日	宮丸 文良 (飯島)	遠山 幹 (御母衣)
津田 俊顯 (荻町)	森下 澄雄 (木谷)	根尾 治吉 (荻町)
松山 太郎 (荻町)	小坂 安彦 (平瀬)	板谷 克雪 (荻町)
松井 實 (荻町)	澤 幸作 (鳩谷)	
就任 平成15年4月28日	長瀬 吉実 (荻町)	松井 實 (荻町)
宮丸 文良 (飯島)	小坂 安彦 (平瀬)	板谷 克雪 (荻町)
川田 裕 (荻町)	秋良 鼎 (平瀬)	高桑 徹司 (鳩谷)
小坂 安彦 (平瀬)	川田 裕 (荻町)	高桑 徹司 (鳩谷)
川田 裕 (荻町)	長瀬 吉実 (荻町)	松井 實 (荻町)
松井 實 (荻町)	上手 英二 (荻町)	森崎 敏克 (飯島)
新谷 保雄 (木谷)	新谷 保雄 (木谷)	高桑 徹司 (鳩谷)

「議員と未来会議」 参加者募集

広報委員会 委員長
高桑 徹司

国会議員から村議会議員の役割
今、白川村が行って行かなければならない事
議員も1人では殆ど無力。だから皆で考えたいんです。
働き世代の皆さん、次世代を担う若い皆さん、一緒に考えませんか？

記

- 日時** 12月上旬を予定 (行政無線等で周知します)
- 会費** 原則無料 (懇親会開催の場合は、別途徴収します)
- 定員** 20名様
- 申込先** 白川村議会事務局 (成原伸次まで)
詳細が決まり次第、区長会文書もしくは行政無線でご案内致します。